

## 第 229 回 日本知能情報ファジィ学会 理事会議事録 (第 15 期, 第 7 回)

日時：2018 年 4 月 22 日 (日) 13:00~17:00

場所：大阪大学・中之島センター・5F 多目的室 501

<https://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/index.php>

出席者 (敬称略)：林 (会長), 乾口 (副会長), 藤吉 (副会長), 櫻井 (会誌), 本多 (事業・研究推進), 堀尾 (財務・会計), 井田 (規程・選奨), 工藤 (出版・他学会連携), 能島 (広報), 中島 (特任・電子化データベース), 前田 (特任・資料アーカイブス), 金久保 (財務・会計監事), 堀口 (事業監事), 広兼 (総務)

欠席者 (敬称略)：橋山 (大会デザイン)

### 【審 議】

#### 1. 前回議事録の確認 (資料 229-0 : 広兼, ML 審議 3/16 承認)

- ・資料 229-0 に基づき, 前回議事録の内容について説明があった.
- ・議事録の内容に疑義等ある場合は, 4 月 29 日までに広兼まで連絡することとした.
- ・その後, 意見に基づき修正したうえで, HP へ公開することとした.

#### 2. 横幹連合 2018 年度定時総会への出欠について (資料 229-5 : 広兼)

- ・資料 229-5 に基づき, 横幹連合 2018 年度定時総会について説明があった.
- ・中央大学にて 4 月 27 日に開催される総会に, 代議員となっている広兼が出席できないため, 代理で出席可能な方について問い合わせたものの, どなたも都合がつかず, 今回は欠席で連絡することとした.

#### 3. 日本学術振興会・有志賞受賞候補者の推薦について (資料 229-6 : 広兼)

- ・資料 229-6 に基づき, 日本学術振興会・有志賞受賞候補者の推薦について説明があった.
- ・推薦依頼を SOFT-ML に流して, 次回の理事会前 (5 月 16 日) を締め切りとして推薦者の募集をすることとした.
- ・複数の推薦者があった場合は, 次回理事会 (5 月 19 日) に審議することとした.

#### 4. 資料アーカイブズの今後の活動方針について (資料 229-7-1, 2, 3 : 前田)

- ・資料 229-7-1, 2, 3 に基づき, 資料アーカイブズ業務の現状と課題について説明があった.
- ・学会誌, ファジィシステムシンポジウム予稿集, SCIS&ISIS 予稿集については, ほぼ電子化が完了しているが, その他については手つかずの状態である.
- ・その他の残されている資料については, 優先順位をつけてできる範囲内で実施していくこととした.
- ・学会誌, ファジィシステムシンポジウム予稿集, SCIS&ISIS 予稿集については, 理想としては, J-Stage で公開すべきであるとの意見があった. J-Stage での公開を実現するためには, XML 化, メタデータ作成等にかかる費用の検討が必要となることを確認した.

- ・資料アーカイブズに関しては、電子化作業、DBの保管場所、公開方法などの問題点がある。
- ・電子化作業については、できるだけ長期で継続していただける方が望ましい。
- ・電子化作業については、学生アルバイト、学会事務局、一般業者などについて、様々な可能性を検討していくこととした。
- ・DBの保管場所については、当面、DropboxかGoogle Driveに仮置きして、そこからURLを取得して、SOFT-CRで公開していくこととした。将来的には、学会サーバあるいはSOFT-CRのサーバに置く方向で検討することとした。
- ・公開方法については、会員については無償公開することとした。非会員については、資料の内容によっては、無償、あるいは会員を通しての許可制など、様々な方法を検討する必要があることを確認した。
- ・当面は、すべての人（会員・非会員）に無償公開することに問題ないところから公開を進めていく方向で検討することとした。

## 5. 事業報告・事業計画（本部関連）について（資料 229-8-1, 2, 3：本多）

- ・資料 229-8-1, 2, 3に基づき、本部関連の事業報告・計画の説明があった。

### (1) 事業報告について

- ・理事会の開催場所について、「・」を入れるなど標記を統一させることを確認した。
- ・FSS2017の発表件数は187件で、参加者数は268名であることを確認した。
- ・「シルバー研究部会」を「シニア世代研究会」に修正することを確認した。
- ・評議員については、事務局に確認することとした。
- ・「第29回評議会（第14期）」を「第29回評議会（第15期）」に修正することを確認した。
- ・学会誌編集委員については、新メンバーのみを記載することとした。
- ・学会誌編集委員会、編集委員会の第251回、第252回は平成30年に修正することを確認した。
- ・学会誌編集委員会、事業内容の最後はVol.30, No.1に修正することを確認した。
- ・学会賞選考委員は委員長のみを記載して、委員は人数のみとすることとした。
- ・資料アーカイブズ委員会、SOFT-CR委員会についても追記することとした。

### (2) 事業計画について

- ・事業内容の「(6) 資料アーカイブズの企画と推進」を「(6) 資料アーカイブズの推進」に修正することを確認した。
- ・評議員については、事務局に確認することとした。
- ・J-Stageの登録作業、FSSの参加登録に係る費用について、手続き、負担担当等について調査することとした。FSS2016（佐賀）とFSS2017（米沢）の論文が公開されていないことが確認され、対応を検討することとした。

### (3) 決算・予算について

- ・決算・予算については、事業内容を確認の上、次回審議することとした。

## 6. 事業報告・計画（支部関連）について（資料 229-9-1, 2, 3：本多）

- ・資料 229-9-1, 2, 3に基づき、支部関連の事業報告・計画の説明があった。
- ・決算・予算については、事業内容を確認の上、次回審議することとした。

## 7. 事業報告・計画（研究部会関連）について（資料 229-10-1, 2, 3, 4：本多）

- ・資料 229-10-1, 2, 3, 4 に基づき、支部関連の事業報告・計画の説明があった。

### (1) 事業報告について

- ・「シニア世代研究部会」を「シニア世代研究会」に修正することと確認した。
- ・ベンチャー研究会の「あいまい動的状態推定研究会」は活動が完了したことを確認した。

### (2) 事業計画について

- ・「土木・建築ソフトウェアコンピューティング研究部会」から「社会システム研究部会」への名称変更届があったことが報告され、平成 30 年度の事業計画は「社会システム研究部会」で進めていくことを確認した。
- ・「ソフトロボティクス研究会」を「ソフトロボティクス研究部会」に修正することとした。
- ・ソフトロボティクス研究部会の英文名について、他の研究部会の英文明「Special Interest Group on …」に合わせることは可能か否かを問い合わせることとした。
- ・若手研究会の「ベンチャー研究会名称」を「研究部会名称」に修正することと確認した。
- ・「シニア世代研究部会」を「シニア世代研究会」に修正することと確認した。

### (3) 決算・予算について

- ・決算・予算については、事業内容を確認の上、次回審議することとした。

## 8. FSS2018・Prof.L.A.Zadeh 追悼企画セッションについて（資料 229-12：林）

- ・資料 229-12 に基づき、FSS2018 での Prof.L.A.Zadeh 追悼企画セッションについて、説明があった。
- ・セッション名は「ザデーを超えて」より、学会誌の企画名である「ソフトウェアコンピューティングへの期待」とする方向で検討することとした。
- ・特別講演は 1 時間として、菅野先生に依頼することとした。
- ・パネルディスカッションでなく通常の OS のような形として、学会誌に投稿した記事の内容を紹介する形で進めていく方法で検討することとした。また、発表者は 6 名程度で検討することとした。
- ・企画内容を再検討して、次回理事会あるいはメール審議にて議論することとした。

## 9. 学会 HP サーバについて（資料 229-13：能島）

- ・資料 229-13 に基づき、学会 HP サーバの増強について説明があった。
- ・現状の 100GB を 300GB に増強する件、継続審議とした。
- ・ただし、安価な方法がある中で、担当理事の負担も考慮したうえで、現在管理している業者に依頼するか否かは、契約内容を確認の上、対応を検討することとした。
- ・ドメイン SSL 証明書を設定する件、了承された。

## 10. その他

- ・功績賞の候補者の決め方や該当者について審議した。

## 【報 告】

### 1. 日本知能情報ファジィ学会第 29 回総会の会告について (資料 229-1 : 広兼)

- ・資料 229-1 に基づき、日本知能情報ファジィ学会第 29 回総会の会告を学会誌に掲載したことが報告された。
- ・総会資料は 5 月 29 日より学会 HP から閲覧できるとの記載をしていることが報告された。暫定版でも良いので、期日までに掲載を進める方向で検討することとした。

### 2. 学会誌の企画について (資料 229-2 : 櫻井)

- ・資料 229-2 に基づき、Vol.30, No.1 から Vol.31, No.6 までの学会誌の企画案が報告された。
- ・企画の提案があれば連絡するよう依頼があった。

### 3. 今後の FSS の開催準備の状況 (資料 229-3 : 本多)

- ・資料 229-3 に基づき、今後の FSS の開催準備の状況が報告された。
- ・FSS2018 は、名古屋大学にて、2018 年 9 月 3 日 (月)、4 日 (火)、5 日 (水) の期間で開催されることを確認した。
- ・FSS2019 は、大阪大学にて、2019 年 8 月 29 日 (木)、30 日 (金)、31 日 (土) の予定で開催することを検討していることが報告された。実行委員長の乾口先生を中心に検討していることが報告された。
- ・FSS2020 は、九州支部長の重井先生から開催受諾の返事があったことが報告された。開催場所については、支部にて引き続き検討することが報告された。

### 4. エルゼビアの国際誌の購読価格への対応について (資料 229-4 : 乾口)

- ・資料 229-4 に基づき、エルゼビアの国際誌の購読価格への対応結果が報告された。
- ・これから支払う方が 3 名おり、本来の金額での請求書を発行済みであることが報告された。
- ・既に支払い済みで返金を希望された方が 2 名おり、差額分についてはすでに返金済みであることが報告された。
- ・既に支払い済みで次回購入時の充当を希望された方が 4 名おり、次回の FSS 誌を購入時に差額分を差し引いた額を請求することとした。
- ・エルゼビアジャパンのシニアマネージャーからの詫び状も購入者には送付しており、エルゼビアジャパンのミスであることを納得していただけているとの報告があった。

### 5. SOFT-CR 連携ファジィ学問塾 (講演会&FSS2018 企画セッション) (資料 229-11-1, 2 : 本多)

- ・資料 229-11-1, 2 に基づき、SOFT-CR 連携ファジィ学問塾の講演会および FSS2018 での企画セッションについて報告された。
- ・今年度は、3 月に愛知工業大学、大阪大学、首都大学東京の 3 箇所で、実施したことが報告された。
- ・来年度も講演会を数か所で実施していく方向で検討することとした。

- ・ FSS2018 の企画セッションでは、2 セッション（8 件程度）を目標に企画を進めていることが報告された。現在は、4 件か 5 件程度は目途が立っているが、残りの 3, 4 件について、学生に参加を呼び掛けてほしいとの依頼があった。

#### 6. その他

- ・ 林会長から、アゼルバイジャン大使に Zadeh 先生を偲ぶ会のお礼に行ったことが報告された。
- ・ 櫻井理事から、東レ科学賞の贈呈式に出席してきたことが報告された。
- ・ 次回の理事会は、5 月 19 日（土）12:00～17:00、関西大学・千里山キャンパス・学術フロンティア 3 階会議室にて開催することが報告された。

以上